

快適な道路に果たす緑の役割

第2回 「みどり豊かで快適な道路空間の維持管理」

兵庫県立大学大学院 准教授／
兵庫県立淡路景観園芸学校 主任景観園芸専門員 大藪 崇司

今年の夏は暑い。いや、この号が発行される頃には過去の話であってほしいところです。その暑い中を人が歩く際、街路樹の木陰があると陽ざしが遮られ、暑さが少し和らぎます(写真1)。また、信号で止まる時などは木陰で立ち止まり、ひと息整える方も多いかと思います。このように夏に頼りとなる街路樹の木陰ですが、その効果の発揮には日ごろの維持管理が重要です。



写真1 - 街路樹の木陰で信号待ちをする人々

街路樹の維持管理は各行政団体(道路管理者)が行っており、病虫害防除、除草・清掃、剪定、植栽が主な作業となります。街路樹は生きているため、病気にかかったり、虫に食べられたりしますが、その都度、病虫害の付いた枝を剪定したり薬を散布したりすることで被害が最小限になるように管理されています。この作業は、病虫害が発生した場合、すぐに実施することが望ましいため、みどりのパトロールや住民からの連絡が欠かせません。



写真2 - 旺盛に繁茂した下枝と雑草

街路樹は、植栽樹といわれる舗装されていない土があるところに植えられています。これは、雨水などが浸み込み、植物が吸水する水分を供給する重要な場所です。しかし、雑草の種が飛んできて発芽し、植栽樹の周辺が見苦しくなっているところが散見されます。昨今、維持管理費の削減により除草回数が減らされ、歩道にまで雑草がはみ出している道路も見受けられます(写真2)。このようになってしまうと景観が悪いばかりか、通行者や車からの視認性が低下し、危険が生じます。もし、現在の除草回数で雑草の繁茂を抑えられないなら、雑草が生えないようにツル植物や低木を植えて覆うようにしておくことで、雑草への日射を遮蔽して成長を抑えることができます(写真3)。また、雑草が勢いよく伸びるのは梅雨の多雨が要因になることから、その前に丁寧な除草を行うことで旺盛な繁茂を避けることが可能です。ただし、その場合は2回目の除草を早めるか、場所によっては回数を増やす必要があります。

(2) センターだより



写真3 - 植樹柵を被覆するツル植物

さらに、街路樹は、成長に伴い枝を伸ばし他者の敷地を侵したり、根の成長により歩道のアスファルトやインターロッキングに段差を生じさせたりするなど、定期的な剪定が必要となります。根っここの伸張については、なかなか定期的な剪定を行うことは難しいのですが、道路に凹凸が生じた場合、適宜その修復のため縁石や歩道面を取り除き、根に対して剪定を施し、支障とならないようにする必要があります（写真4）。



写真4 - 歩道の拡幅と根っここの処理

枝の剪定は、落葉対策として単に切れば良いのではなく、街路樹を守り育てるために行うものとして捉える必要があります。以前、兵庫県と兵庫県園芸・公園協会の協力を得て、イチヨウが植栽されている県道において手法を変え剪定し、その翌春どのようになるかを比較したことがあります。1つは枝の途中でぶつ切りにしたもの（写真5左）、もう1つは不要な枝は取り除くが良い枝は先端まで残すようにしたもの（写真6左）としました。ぶつ切りにすると幹や枝の途中など、通常では芽が形成されない部位からも新しい枝を生じさせたことから、樹形が乱れる原因となりました（写真5右）。よって、樹木



写真5 - ぶつ切り剪定



写真6 - ぶつ切り剪定

が自然な樹形を保つには、適切な剪定が必要となります（写真6右）。

適切な剪定が行われていない原因としては、単に維持管理費の低下だけでなく、道路管理者から業者への指示不足、剪定技術の低下、剪定技術を道路管理者が評価できず次回の入札に反映されないなど複合的な問題となっています。道路管理者が技術評価を行えないのであれば、外郭団体や第三者機関を活用するなどのシステム作りを模索すべきと思われます。

街路樹は、街に住む人々にとって身近な緑であり、地域の顔であり、それを管理している首長の心の表れともいえます。そこに如何に手をかけ美しくしていくかは、街の風格に繋がります。維持管理予算がないといえ簡単ですが、都市空間にかかわる行政の仕事を見直すことで、街路樹の快適・安全のため必要な人的・財務的資源を確保することが望まれます。



花と緑の専門家バンク



専門家と一緒に花緑の悩みを解決しませんか？

「花と緑の専門家バンク」は、花と緑のまちづくりに取り組む花緑グループの活動を支援するため、都市緑化や景観園芸分野の専門家、また造園や花と緑に関する専門的な知識・技術を有する専門家を紹介する制度です。

事業の概要は下記のとおりです。

詳しくはお住まいの地域の県民局・県民センター駐在 緑のパトロール隊員にお尋ねください。

花と緑のまちづくり活動をより専門的に深めたい方々の積極的なご利用をお待ちしています。

対象内容

1. 緑化施設の維持管理および植え替えなどの診断および技術指導
2. 花と緑のまちづくりに関すること
3. 緑化施設整備計画の策定や設計に関する助言
4. 花と緑のまちづくりに関わるテーマの講演会・シンポジウムなどの講師

費用

講師の費用は、「花と緑の専門家バンク」が負担します。

問い合わせ・申込み

所定の申請用紙（ホームページ参照）に必要事項を記入の上、実施予定時期 1 ヶ月前までにお住まいの（4 ページ掲載の表を参照）地域の県土木事務所に駐在している緑のパトロール隊員に提出してください。

校庭や広場の芝生化



学校や公園などの芝生の施工・維持管理までを、芝生の専門家より講習・指導

樹木の管理



古木や病気の樹木の維持管理 剪定の講習・指導

屋上緑化



屋上緑化の専門家によるデザインから 建築強度や季節ごとの維持管理の講習・指導

花壇のデザイン



草花の専門家による地域の季節に合った 植栽デザインや維持管理方法の講習・指導



ホームページは

ひょうごはなまち 専門家バンク

検索



花緑いっぱい運動推進員を募集しています

■花緑いっぱい運動推進員とは

兵庫県では、花と緑あふれる美しい県土づくりを推進するため、花と緑のまちづくりに一定の技術や知識をお持ちで、地域における花緑活動のボランティアリーダーとして実践活動や人材育成に取り組んでいただける方を募集しています。平成28年8月31日現在、182名の方が花緑いっぱい運動推進員として活動されています。

詳しくは、下記のお問い合わせ先へ、ご連絡下さい。

●活動内容等に関するご案内

活動内容

- ・地域の緑化活動に取り組もうとするグループの育成
- ・地域の緑化活動へのアドバイス
- ・緑化活動グループの交流促進 など

このような活動に自主的に取り組み、半年に一度、報告をしていただきます。

活動に対する支援

- ・活動に要する交通費等の一部として、月1,000円(定額)の助成金を支給します。
- ・活動中の事故等に備えて、兵庫県ボランティア・市民活動災害共済制度に加入します。
- ・推進員としての活動に必要な緑化技術・知識の向上を図るため、研修会及びワークショップ開催し参加を呼びかけます。



お問い合わせは、こちら

実施箇所ごとの問い合わせ先にご連絡ください。

実施箇所	お問い合わせ先	郵便番号	所在地	電話番号
神戸市	県土整備部まちづくり局 都市政策課緑化政策班	650-8567	神戸市中央区下山手通 5-10-1	078(362)3563
尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市 宝塚市、川西市、三田市、猪名川町	宝塚土木事務所 まちづくり建築課	665-8567	宝塚市旭町2-4-15	0797(83)3191
明石市、加古川市 高砂市、稲美町、播磨町	加古川土木事務所 まちづくり建築課	675-8566	加古川市加古川町 寺家町天神木97-1	079(421)9402
西脇市、三木市、小野市 加西市、加東市、多可町	加東土木事務所 まちづくり建築課	673-1431	加東市社字西柿1075-2	0795(42)9407
姫路市、相生市、たつの市、赤穂市 宍粟市、神河町、市川町、福崎町 太子町、上郡町、佐用町	姫路土木事務所 まちづくり建築第2課	670-0947	姫路市北条1-98	079(281)9313
豊岡市、養父市、朝来市 香美町、新温泉町	豊岡土木事務所 まちづくり建築第1課	668-0025	豊岡市幸町7-11	0796(26)3757
篠山市、丹波市	丹波土木事務所 まちづくり建築課	669-3390	丹波市柏原町柏原688	0795(73)3863
洲本市、南あわじ市、淡路市	洲本土木事務所 まちづくり建築課	656-0021	洲本市塩屋2-4-5	0799(26)3213

Report 花緑いっぱい運動推進員研修会

地域	日時	会場	講師	研修テーマ
神戸地域	6月6日	兵庫県民会館	(有)確実本園 前野 義博	露地バラの年間管理ポイント
北播磨地域	6月23日	北播磨県民局社総合庁舎	園芸コンサルタント 三浦 行篤	花緑の推進と今後の緑化のあり方
淡路地域	6月24日	淡路県民局洲本総合庁舎	淡路景観園芸学校 主任景観園芸専門員 城山 豊	美しい花壇を作るには
東播磨地域	7月5日	東播磨県民局加古川総合庁舎	ひょうごガーデンマイスター 安尾 昌子	花緑団体の育成方法、花壇維持管理等事例発表
中播磨地域	7月8日	中播磨県民センター姫路総合庁舎	木材開発株式会社丹波農園 荒木 齊	樹木・果樹の接ぎ木と挿し木について
阪神北地域	7月13日	宝塚市男女共同参画センター	ひょうごガーデンマイスター 加賀 文代	ラベンダー街道ができるまで
西播磨地域	7月15日	相生市文化会館	園芸コンサルタント 三浦 行篤	花緑の推進と今後の緑化のあり方
阪神南地域	7月19日	尼崎の森中央緑地管理事務所	(株)エクステリア風雅舎 加地 一雅	新しい草花の種類紹介と土壌改良を中心とした花壇の維持管理について
丹波地域	7月28日	丹波並木道中央公園管理事務所	(株)エクステリア風雅舎 加地 一雅	庭で育てるハーブとスパイス

8月末までに、県内9地域にて研修会を開催しました(但馬地域は10月以降に開催予定)。さまざまな講師に講習を行っていただき、専門的な知識や技術を深め、今後の活動の幅を広めました。

また、研修会の後、懇話会として花緑いっぱい運動推進員の広がり・交流・活動などについて、推進員さんに色々と意見を交換しました。向上していく為に、今後ご意見を伺う場を設けていきたいと考えています。

花緑いっぱい運動推進員ワークショップは、9月以降にホームページ等で案内します。



前野講師



三浦講師



城山講師



安尾講師



荒木講師



加賀講師



加地講師



グリーンメッセージ



ヤブ化の進む都市～生命の危険を避けよう～



兵庫県参与 (花と緑のまちづくり推進担当)

(公財)兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長

石原 憲一郎

今年の夏は、オリンピックが開催され、テレビ観戦で暑い夏を過ごしました。今回、多くの選手が参加を辞退したことは、前例がなく話題となりましたが、その理由の一つは、ジカウイルスやデングウイルスを有する蚊による感染症など衛生面の不安でした。

地球温暖化により、ウイルスを有する蚊が地球規模で生息地域を拡大させ、ジカ熱はアフリカ・アジアの熱帯および亜熱帯地域のみならず、2014年にアメリカ大陸で、2015年にはブラジルなど南米で流行しました。また、デング熱は、2014年東京都の公園に生息する蚊による感染事例が報告されています。

蚊の発生源は、水たまりや植物が繁茂する場所です。我が国の道路や公園などにおいて、除草対策不足によるヤブ化が進み、蚊などの虫やマダニ、小動物の発生源や生息場所が増えています。

ヤブ化は衛生面だけでなく、交通安全面でも歩行者や運転者の視界を阻害し、生命の危険を生じさせます。さらに、まちの景観が悪化し、その品格を著しく低下させることにもなります。

ところで、アベノミクスの経済対策として、国土強靱化計画など公共事業の拡大が叫ばれています。リニア新幹線の新設や高速道路の整備拡充、防波堤などの防災対策も重要な要素です。しかし同時に、これ

まで営々と整備してきた諸施設の維持管理も大切な事業の一つです。

親が子どもを育てるように、行政が整備してきた公共施設を適正に維持管理するのは、当然の義務と考えます。老朽化した施設の更新と同時に、道路や公園内の植栽地における植物の成長管理や除草は必須であり、予算低減によるヤブ化は避けねばなりません。道路や公園は、植物の力により快適な環境となり、我々に恩恵を与えていますが、植物は私たち人間なのと同じ「生きもの」であり、成長管理が不可欠です。

緑豊かな経済大国シンガポールは、国是を「Garden City」から「City in the Garden」に転換し、美しい国土づくりにさらに磨きをかけ発展していますが、国の緑化予算の約40%以上が維持管理費であることは余り知られていません。維持していくには、管理(手入れ)が必要なのです。

我が国における公共事業の在り方を検討する中で、軽視しがちな維持管理予算の充実を図り、人に優しい美しいまち空間を目指すため、全国でヤブ化が進む現状を改善することが大切です。それにはまず、地域住民や利用者が施設管理者に対し、強く警鐘を鳴らし続けることから始まるのです。



沖縄県のヤブ化した道路。気候の違いもあるがこれでは歩くこともできない。

ほっと

●●● 相談員ニュース ●●●

秋 桜

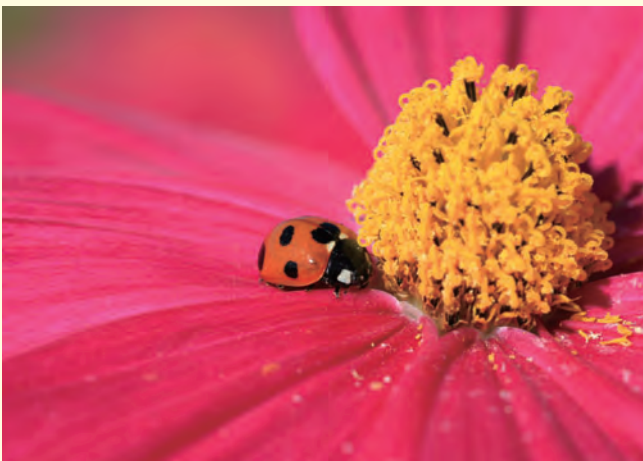
緑の相談員 竹内 聖雄

秋の訪れを感じさせる、小さく紫の可愛らしい秋桜（コスモス）には心が癒されます。

「秋桜」と書いて「コスモス」と読むようになったのは、1977年にさだまささんが手掛け、山口百恵さんが歌った曲のタイトルのあて字が始まりで、正式に読みを「こすもす」とされたのは、2007年発行の広辞苑改訂第6版からです。

原産地は、中南米メキシコの高原地帯。18世紀末にスペインの首都マドリードの植物園に送られ、ギリシャ語で“秩序ある世界”“美しさ”という意味の『Kosmos(コスモス)』から名付けられました。日本には、19世紀末(明治中期)頃に渡来したと言われてい

ます。コスモスは、8枚の舌状花と中央部で少し盛り上がった黄色い筒状花からなるキク科コスモス属の非耐寒性一年草で、たくさんの花が集まり形成される「頭状花」と言います。



花粉に寄りつくテントウムシ

中心部の「筒状花」は、星形に開いた花弁の中から、黒い雄しべが見えるのが「筒状花」です。外側の花は、花弁の内の1枚が大きく発達し、頭花全体の花びらとなっています。このような花は、筒状の一部が伸び出して形成されるので、「舌状花」と呼ばれています。この筒状花が咲き終わると種子が出来、地面に落ち繁殖します。コスモスは、比較的育てやすい植物ですが、原産地はメキシコの雨が少ない高原地帯のため、必要以上の水を嫌う性質があります。

水の与えすぎには、注意が必要です。真夏では、土壌がカラカラになり枯れる可能性があるため、適度な水やりは、必要です。コスモス畑として、休耕田に植えられることが多いですが、放置されている休耕田でもよく育ち、病原虫にも強く、秋には花が咲き、とてもきれいに咲くことが理由と考えられます。

また、秋に咲く花の印象が強いですが、植える時期により、花が咲く時期が異なります。短日植物で、ある程度成長すると、日に当たる時間が短くなると花を咲かせます。この短日機能を利用することで、花を咲かせる時期が調整でき、一年を通して長く楽しめます。しかし、秋に咲く花としては、残念ながら、冬の寒さにはあまり強くはありません。花後の種は土の中で寒さをしのぎ、春になると芽を出し、花を咲かせます。ご自宅のお庭でも、こぼれ種で翌年に咲き、毎年、楽しむことも出来ます。



加古川市志方町のコスモス

季節の園芸相談 Q & A

緑の相談員 若松 康史

Q 夏越し後のシクラメンの管理は、どのようにすればよいでしょうか？

A 9月も半ばを過ぎると厳しい暑さもようやくおさまり、夏越しに成功したシクラメンは新たに生長を開始します。管理方法としては、葉をつけたまま夏越しさせた場合も、完全に水を切って休眠状態にした場合も同じです。まず、鉢から取り出し、根鉢の側面及び下面を崩して半分くらいの大きさにします。鉢は元の鉢より1回り程度大きいか、球根の直径の3倍程度の大きさのものを選びます。用土は赤玉小粒6、腐葉土3、ピートモス1とし、元肥として緩効性肥料を規定量入れて混ぜ合わせます。球根は必ず土の表面から出して植え、鉢底から水が出る位たっぷり水やりを行います。植え替え後1週間位は明るい日陰に置き、その後は日当たりの良い場所で管理します。

ガーデンシクラメンは、大型品種に比べて丈夫ですが、やはり雨のかからない場所で管理する方が蕾も腐らず綺麗に咲きます。水やりの際も株になるべくかけないように行って下さい。



休眠状態で夏越しし、新しく生長を開始したシクラメン

たっているか確認してください。ただ、日当たりが悪い場所でも、高さのあるコンテナやスタンドを配置することで改善することができます。

イメージを作って種類を選び組み合わせる

花の色、時期、草丈などを調べ、バランスを考えて花壇のイメージを作ります。宿根草や球根花きを取り入れると、咲く時期がずれるため、春の移ろいを感じながら管理作業が一時期に集中せず余裕を持って行うことができます。組み合わせの際、宿根草や球根花きは開花期間が短いので開花期間の長い一年草と隣接させると良いでしょう。

種苗の購入は早めに

一年草や宿根草の苗、球根などの珍しい種類は売り切れてしまう場合もあるので、9月中旬に購入しておきましょう。ただ、近年は冬の訪れも遅くなり、夏の草花は11月を過ぎても花を咲かせている場合も多いので、花壇への植え付けまで一年草や宿根草は大きいポットに植え替えておくのも良いでしょう。球根花きは、風通しが良く日の当たらない場所に保管します。いずれも花壇への植え付けは11月末までには行うのが良いでしょう。



チューリップが咲き終わった後に宿根草が開花し、長く楽しめる



狭い花壇もコンテナで広く見える。乾燥を好む種類はコンテナが良い。

Q 美しい春花壇を作るために今の時期に準備しておくことは、ありますか？

A 日当たり具合で配置を決定し、コンテナも有効利用
10月頃に日当たりチェックしておきましょう。それは、この頃の太陽光の角度が草花の成長が盛んになる3月頃と同じだからです。日当たりを好む種類は植える場所に日が当

平成28年度 園芸教室(10月~12月)

場所：明石公園花と緑のまちづくりセンター研修室
☆印は明石公園西芝生広場 ※印はサービスセンター西館

実施日	タイトル	講師名	開催時間	参加費(円)	申込開始日
10月 2日 日	明石公園の自然観察⑦(雨天決行) ☆明石公園西芝生広場	兼光たか子	10:00~	0	9/15~
16日 日	明石公園の野草を見る・楽しむ・学ぶ(秋) ※サービスセンター西館	高野 哲司	13:30~	100	
21日 金	どんぐりで森の仲間を作ろう	山本 建也	13:30~	600	
23日 日	薬になる木・草を学ぶ秋>(薬草のおみやげ付き)	高橋 宏和	13:30~	500	10/1~
11月 6日 日	明石公園の自然観察⑧(雨天決行)	兼光たか子	10:00~	100	10/15~
11日 金	庭木の手入れ③~マツの整枝・剪定~(午前)	宮武 忠一	10:00~	100	
	庭木の手入れ③~マツの整枝・剪定~(午後) 午前と同一内容		13:30~		
18日 金	花と緑で絵手紙づくり	仲埜 末子	13:30~	1000	11/1~
25日 金	布バラでモダンアートなしめ飾りをつくる	平尾ひろ子	13:30~	3100	
12月 2日 金	ハーブのある暮らし⑤~ハーブを使ったクリスマスリース~	陳 美穂	13:30~	1500	11/1~
4日 日	明石公園の自然観察⑨(雨天決行)	兼光たか子	10:00~	100	11/15~
16日 金	新年を楽しむ寄せ植え	永田 鈴子	13:30~	3100	
18日 日	親子で楽しむミニ門松作り	松井 鴻	10:00~	500	12/1~
	正月のしめ縄を作ろう		13:30~	300	

■お申し込み・お問い合わせ■ 花と緑のまちづくりセンター / TEL:078-918-2405 *お申し込み開始日、午前9時より先着順

花と緑のまちづくりセンターだより 38号

- 平成28年9月31日発行(年4回発行)
- 編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎
〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター
TEL:078(918)2405 FAX:078(919)5186 Eメール:info_midori@hyogopark.com